

		中学校 生徒・保護者	疑問・意見・要望等の説明・今後の方向
中 学 校 生 徒	疑 問 等	何のために地域移行するのか？部活動としてどうして土日できないか？	令和8年度から、国の方針に基づき、全国の中学校（体制が整わない一部の県は除く）で休日における学校部活動は実施できなくなります。そのため休日は、地域クラブとして活動できるように地域移行を行います。
		必ず地域クラブに参加しなければならないのか？少ない参加で良いのか？	地域クラブへの参加は自由です。また、毎回参加しなければならないということもありません。地域クラブへは、平日の学校部活動と同じ活動を選ぶこともできますし、違う活動を選ぶこともできます。参加しないことを選ぶこともできます。
	要 望 等	強制感を出さないでほしい。	強制ではありません。平日の部活動に参加しているから、休日と同じ競技に参加しなければならないということもありません。
		毎週ではなく、2週に1回にしてほしい。	これまでの学校部活動は、休日とも土日どちらかで活動していました。大会や練習試合も休日に行われています。地域クラブは学校部活動の受け皿として現在試行実施していますので原則（シーズンにより異なる）毎週行われています。参加は希望制ですので、本人の都合に合わせて参加してください。
		大会前の休日は、学校の部活動がしたい。	大会参加は、学校単位でも地域クラブとしてでも参加できます。学校単位で大会参加する場合は、大会前は休日でも学校の部活動として練習は可能です。しかし、それも試行期間の令和7年度末までです。詳しくは、各学校の顧問の先生に相談してください。
中 学 校 保 護 者	疑 問 等	親の協力、負担はどのくらい必要なのか？	地域クラブ実施会場までの送迎や参加費の負担等にご協力をお願いします。会場まではこれまでの部活動と同じように、各自が自転車で移動することもできますが、天候状況や遠方の場合は送迎をお願いします。参加費については、保険加入料（年間800円）、指導者謝金等です。総額については今後試算していきます。本格実施までにはお知らせできるようにします。
		地域クラブのメリット・デメリットは？	<メリット>生徒数の減少によりチームが組めない学校が多くなっています。合同チーム編成と同じように地域クラブで大会参加が可能になります。専門的な指導が受けられることや他校生徒と一緒に活動することで幅広い社会性が育成されます。また、休日は学校の部活動にはない活動にも参加できるようになります。 <デメリット>参加費の受益者負担、会場までの移動等が必要になります。また、学校単位での大会参加の機会が少なくなります。種目によっては、チーム練習が休日の地域クラブのみとなる場合があります。
		土日どちらか1日の休日はとれるのか？地域クラブになってから月に何回も大会に参加するなど多すぎ。ガイドラインの徹底はできるのか？	休日の地域クラブは「柏崎市立中学校部活動ガイドライン」（以降、ガイドライン：柏崎市ホームページに掲載）に則して活動します。ガイドラインには、土日のうち最低1日は休養日とすると記載されています。現在の部活動でも土日に大会や練習試合がある時は両日活動することがありますが、その分を平日に休養日を設けるようにしています。いずれにしてもガイドラインは生徒の健康管理や家庭での時間確保が目的ですので、大会参加や練習試合は計画的に重要度や生徒の意向を考慮して、指導者が判断しています。
		平日の部活動も地域移行するのか？いっそのこと部活動をなくし、すべて社会体育へ移行するのが良いのでは。	しばらくの間は、平日の学校部活動は継続されます。休日の地域移行の本格実施後に国や県は検討するようになると思います。現在もすでに多くの社会体育が活動しています。学校の部活動に参加せず、社会体育に参加することも選択肢の一つです。
		トラブルがあった場合の責任の所在は？	試行期間中のトラブル対応は、学校の管理下で行います。令和8年度以降の本格実施後は、主に各競技団体がすべて対応することになります。その際は、在籍する学校とも連携して対応します。

中 学 校 保 護 者 要 望 等	指導者との連携、連絡がつかない、連絡が遅い、予定が見通せない。	アンケート結果を受けて、指導者との連携の仕方について改めて体制整備を行う予定です。来年度からは連絡・連携がスムーズにとれるようにします。また、事前に実施計画を配布するなど、予定が見通せるようにします。
	参加費の金銭的補助が必要。市は検討すべき。	試行実施期間中は、市・村の補助金と柏崎市スポーツ協会からの補助で活動しています。本格実施後2～3年は、市から参加費の一部補助を検討していますが、原則地域クラブは受益者負担（参加費等）となりますのでご理解をいただきたいと思います。一方、支援を必要とするご家庭に対しての制度づくりを進めています。生徒が金銭的問題で参加できなくなるようなことのないよう対応したいと考えています。
	指導の内容・方針等の統一。	指導方針については、各学校の顧問と指導者でこれまでも連携してきました。アンケート結果を受けて、さらに連携体制を充実させていきます。指導内容・指導方法は指導者によって違います。様々な指導を受けることも大事だと考えます。いずれにしても生徒が混乱しないようにしていきます。
	学校、先生によって部活動への力の入れ方が違う感あり。学校は部活動をどうしたいのか考えを述べるべき。	学級減に伴い教員数も削減されています。当然顧問となる教員も少なくなり、部活動の設置が難しい状況にある学校があります。中学校長会で、今後の部活動について検討するよう働きかけています。
	学校行事（テスト期間）などが違い、大会や練習に参加できないことがある。	学校スケジュールの統一は、様々な状況から難しいと考えます。しかし、中体連の公式大会は、学校も大事な行事として認識していますので、参加については心配ありません。休日の連盟・協会主催大会や練習試合は、それぞれが参加できる範囲で対応しています。
	スクールバスを活用し、移動手段を確保するのはどうか。	すべての地域クラブに対応するスクールバスは確保できません。また、民間の事業者も運転手不足等の課題を抱えており委託は難しい状況です。各自での移動が原則となりますのでご協力をお願いします。今後もよい方法があるかどうかの検討は継続していきます。
	他の部活動（試行していない部活動）も考えてほしい。	令和6年度は、運動部で新たに1～2種目、文化部で吹奏楽の試行を開始する予定です。詳しい案内は、年度初めにお知らせします。
	連携（指導者と保護者）の手段として連絡用ホームページやSNSの活用を。	指導者と保護者がスムーズに連携できる体制を検討しています。
	初心者・上級者等レベルに合わせた指導を望む。	既にそういった対応をしている種目もあります。今後、指導者の複数配置ができるよう指導者の確保を進め、様々な指導スタイルに対応できるよう努めていきます。
	地域クラブはガイドラインからは外してほしい。活動が制限されすぎ。	現在進めている地域クラブの試行は、学校部活動の休日の受け皿としての活動です。指導者には、ガイドラインに則した活動をお願いしています。本格実施になった場合は、ガイドラインの見直しも必要に応じて行われると考えます。しかし、勝利至上主義のみの活動とならないことが大切です。
休日は部活動に縛られない休める環境づくりを希望。	令和8年度から休日は学校部活動としての活動はありません。地域クラブへの参加は希望制です。	
勝つための指導ではなく、人として生きていく上で必要な力を養える活動を望む。	指導方針にかかわるご要望ですが、指導者と学校（顧問）は学校部活動としての方針のもとで活動しています。活動を通しての人格形成と合わせて、活動を楽しむとともに、多くの技能や体力を身に付けることが目的です。その先に勝利を目標とすることも出てくると思われます。	
学校の先生が地域クラブで指導する場合、他校の生徒も受け持つようにしてほしい。	教員が指導者となる場合は、各学校の顧問としてではなく、地域の指導者として携わります。	
入部前に保護者の負担について説明を。	中学校入学前の各校での説明会の際に、説明する機会を校長会にお願いしています。また、市P連とも連携し説明の機会を検討していきます。	

小学校 児童・保護者		疑問・意見・要望等の説明・今後の方向
小学校 児童等	地域クラブを中心に活動して良いか？	地域クラブへの参加は希望制です。地域クラブだけの参加も、学校部活動だけで地域クラブへ参加しないこともできます。現在すべての学校で部活動への参加も希望制となっています。
	学校部活動と地域クラブのどちらかに入れば良いのか？休んで良いのか？地域クラブは入らなくても良いのか？	
	社会体育のチームで試合に出られるのか？	令和5年度から中体連大会へは、参加条件をクリアすれば参加可能になりました。様々な条件がありますし、競技種目によって対応が異なりますので、指導者に確認してください。
	部活動を指導することに喜びややりがいを感じている教師は、どうなるのか？	学校部活動は今後も継続します。休日も希望する教員は、顧問としてではなく、地域の指導者として地域クラブで指導することもできます。
小学校 保護者等	平日の部活動には必ず参加しなければならないのか？地域クラブは強制参加か？	平日の部活動、休日の地域クラブとも参加は希望制です。強制参加はありません。
	初心者でも学校部活動と違う地域クラブに参加できるのか？	初心者でも学校部活動とは違う地域クラブに参加できます。休日のみの活動ですので、チームスポーツで普段から練習している生徒と一緒にすることもありますが、何よりも本人がやってみたいという気持ちを大事にされ、参加してください。
	学校部活動にやりたい部活がない場合は、地域クラブに参加して良いか？	試行実施している種目については、来年度以降、体験や見学ができるよう受け入れ態勢を検討していきます。
	中学校入学前に体験や見学ができないのか？	現在は、学校に設置されている部活動を地域クラブとして休日に試行実施しています。全く別の活動が始まるというよりは、学校部活動の受け皿としての活動が始まるということです。ただし、学校とは違った運営主体（各競技団体等）となりますので、その点が大きく違うところです。
	クラブチーム・社会体育はどうなるのか？	これまで通り変わりはありません。
小学校 保護者意見等	たくさん練習ができなくなるのが心配。	ブロック練習や合同練習形式の実施となる種目もあり、練習環境が変わります。人数や活動場所によってはこれまで同様の練習量が確保できなくなることもあります。指導者が工夫して運動量や練習量を確保していけるようにします。何よりも指導者と活動場所の確保が必要ですので対応しています。
	学校部活動がなくなり、すべて地域活動になると思っていた。説明が分かりにくい。	大きな改革なので時間をかけて体制整備を行い、段階的に移行を進めています。今後も本格実施に向けて各学校や市P連と連携し、方針等、順次説明と情報提供をしていきます。
	地域クラブも部活動と同じようにガイドラインに準じた活動だったらうれしい。	現在は、ガイドラインに則した活動を進めています。今後は、休日の地域クラブがどのような活動になっていくのかをガイドラインの見直しを含め、時間をかけて検証していかなければなりません。生徒の健康管理、家庭での時間確保を優先し、勝利至上主義のみの活動とならないように進めます。
	他校と一緒に活動することで、問題が生じないか不安。	すでに試行実施する中では、「互いに切磋琢磨することで意欲向上に役立っている」とか、「他校生徒と交流できることに満足している」と多くの生徒がアンケートで回答していることがわかりました。活動を通してルールやマナーをはじめ、相手を思いやる気持ちが育つよう指導していきます。時には生活面の指導も必要となると思われます。複数の指導者が、生徒の様子を細かく見取りながら活動できるよりよい練習環境を目指していきます。心配なことが発生しましたら、遠慮なく指導者や学校に連絡してください。
同じ年代でも県立は蚊帳の外で理不尽。	市町村立と県立の違いで制度が違うのは事実です。この制度の問題が解決するよう県とも連携し、鋭意検討を進めています。	

小 学 校 保 護 者	意	文化系のクラブがあると選択肢が広がる。	今後、文化部の要望を確認しながら、運動部と同様に休日の地域移行を進めていきます。			
		吹奏楽の楽器はどうするのか説明が必要。	吹奏楽については、令和6年度中に試行実施を予定しています。大型管楽器等の運搬の問題を検討しています。また、吹奏楽部に所属はしていないが、地域クラブで吹奏楽を希望する生徒の楽器は、学校で貸与できるように検討していきます。			
		専門的指導者による活動になるので、どの活動も新潟県を代表する選手になることに期待する。	専門的な指導を受けることで生徒たちが技術的にも精神的にも成長することに期待しています。競技力だけでなく、様々な分野での活躍と成長の一助になればと思います。			
	見	等	部活動・地域クラブ・社会体育・クラブ等の違いが分かりづらい。	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>部活動</u>：学校管理下で活動しています。中学校体育連盟に所属し、事故やケガ、その他の問題への対応は学校や教育委員会が行います。 ・<u>地域クラブ</u>：現在全国の市町村で進めている、休日の部活動の地域移行で活動する種目の総称です。令和7年度末までは、学校と地域指導者が連携して活動していきます。令和8年度からは、各競技や団体が中心となって運営するため、参加費等の費用が受益者負担となる予定です。運動系は「地域スポーツクラブ」文科系は「地域文化クラブ」と分けています。 ・<u>社会体育</u>：学校管理外の活動で自主的・自発的に参加するスポーツ活動です。各競技団体に所属します。経費はすべて保護者負担です。令和5年度からは、中体連の大会へも参加条件を満たせば参加できるようになりました。平日は、主に夜の活動となります。 ・<u>クラブ(チーム)</u>：社会体育と同じ活動となります。 		
			要	望	分かりづらいことばかりで説明がほしい。	見通しのある方針など、順次、説明や情報提供を行います。不明な点は、学校や教育委員会にお問い合わせください。
					中学校では、活動時間が大幅に減ることがないようにしてほしい。	学校で実施する部活動は今後も継続されます。できる範囲で活発な活動ができるようにしていきます。
	活動場所による地域格差が起こらないようにしてほしい。	休日の地域クラブの活動場所が、自分の通う学校ではない会場での実施となる場合があります。輪番で会場変更するなどの対応を工夫しながら進めていきます。いずれにしても移動についてはご理解とご協力をお願いします。				
	等	学校部活動チームとクラブチームが混在した大会の参加可否が競技ごとに異なることを避けてもらいたい。	令和5年度から中体連大会の参加規程が改定され、クラブチームも参加できるようになりました。しかし、参加条件が満たされなかったり、参加を希望しなかったりするため、大会参加は競技によって状況異なります。今後の状況を見守りたいと思います。			
		学校の部活動をなくし平日も地域移行を進めてほしい。	当面は、学校部活動は継続します。地域クラブの本格実施後に平日も地域移行を視野に検討が始まると思われます。しかし、平日の指導者の確保や生徒の移動など困難な課題が多くあるため、すぐに平日の地域移行は難しいと思われます。			
		学校は部活動から手が離れてからも、子どもたちの活動を見守ってほしい。	地域クラブに移行しても、本人が通う学校の生徒であることには変わりはありません。指導者と学校との連携は今後も継続します。			
好きな学校に行って、好きな部活動を選べるようにしてほしい。		就学する学校は通学区域で定められています。ただし、個々の事情や実績に応じて就学先の変更を認める学区外就学の措置もあります。				